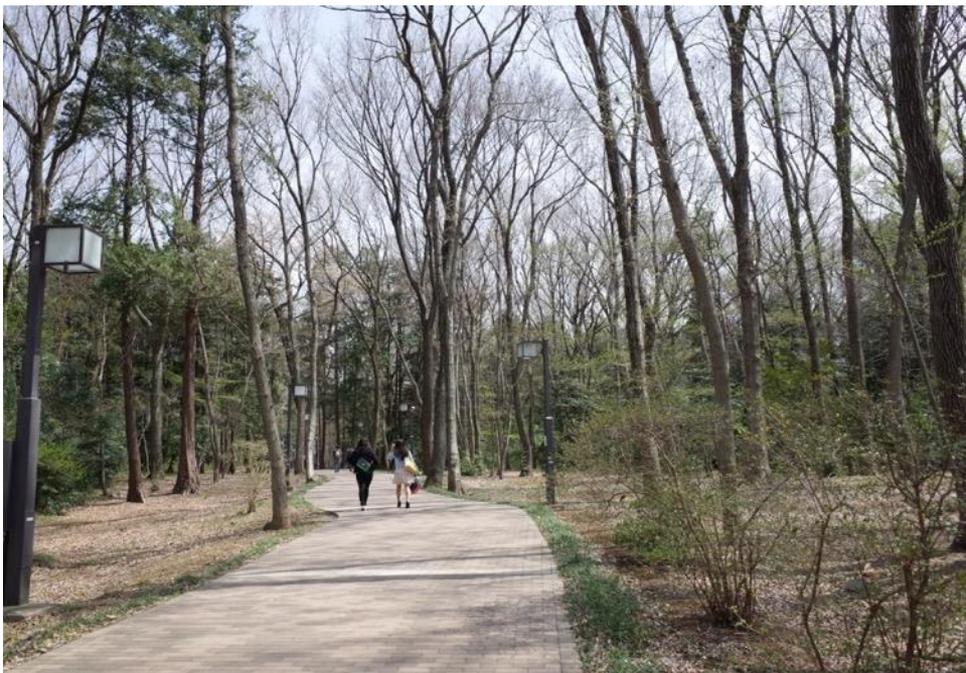


東洋大学建築学科 教育の特色 2022

理工学部 建築学科 学科長 香取慶一





川越キャンパス こもれびの道の四季



川越蔵の街
芋菓子
製造本舗

川越 蔵の街 キャンパスに近い歴史あるまちなみ 授業や研究でしばしば取り上げます

■「建築学」とは？

構造、材料、環境、歴史、まちづくり、生産、経済、計画、デザインなど、**幅広い分野**にまたがるのが特徴です。

■建築学科の学びとは？

人や社会に対する関心を持ち、住む人が心地よい空間をつくるために何が必要かを考え、地域の歴史や文化をも含めた幅広い学びで、芸術的感性と工学的理性を同時に養います。

そのため、工学だけでなく、人や社会に対する関心や、芸術的・科学的なセンス(**生まれつきのものではない**)、さらにはマネジメント能力も必要になります。

特に、東洋大学建築学科は、これまで培ってきた**自治体、まちづくり組織、専門家等とのネットワークを活かし、学外の地域社会・専門家との議論やプレゼンテーション、国内外でのフィールドワークによる実践を通じた多様な学びの場を創出している点**が特徴です。

■ 建築学科での学び方

多彩な視点からものごとを見渡す力をつける

- (1) 人・社会・地球環境との関わりの中で、もの・建築・まちをデザインする力
- (2) 専門知識や技術に基づき、調査分析力・問題解決力・提案力・プレゼンテーション力
- (3) 第一線の実務者や研究者を招いて交流を通じた、将来の職業意識の向上
- (4) 実際の建築・まちづくりと協働した演習を通じた、多様な主体とのコミュニケーション能力

■ グローバル化への対応

海外で活躍するための心得を日常的に学ぶ

建築分野は、図面をもとにしたコミュニケーションがはかれるため、言葉の壁を乗り越えることは比較的容易です。

そのため、最近では就職後の活動場所が 海外となることも多くなっています。一方、建築は、場所に固定し、1つだけつくられるものですから、立地する場所の気候や風土、経済や社会、歴史や文化の影響を受け、地域性が強いという側面があります。

本学科には海外で建築実務や研究活動の経験のある専任教員、非常勤講師が多く、日常の指導の中でグローバル化と地域性との関わり合いを詳しく扱っています。

■4年間の学び

5つの専門分野でスペシャリストを育成

基礎的科目は共通に学び、学年が進むと、各自が関心を持つ専門分野の科目を選択することができます。

【5つの専門分野】

- ①計画・意匠
- ②構造・材料
- ③環境・設備
- ④生産・マネジメント
- ⑤まちづくり

■時代や社会の変化、地域性、生活の多様化など、建築を取り巻くさまざまな状況に対して、幅広い視点から取り組む設計演習科目も、5分野すべてに配置

■一級・二級・木造建築士の受験資格、施工管理技士、インテリアプランナーなどの資格取得に対応した専門科目をバランス良く配置

→各専門分野にも設けられた設計演習により、実践的な提案能力を養います。
また、単に専門分野ごとのスペシャリストの育成を目指すのではなく、各専門分野が連携した学びの場を提供し、横断的に見渡す力、専門知識、スキルを身につけます。

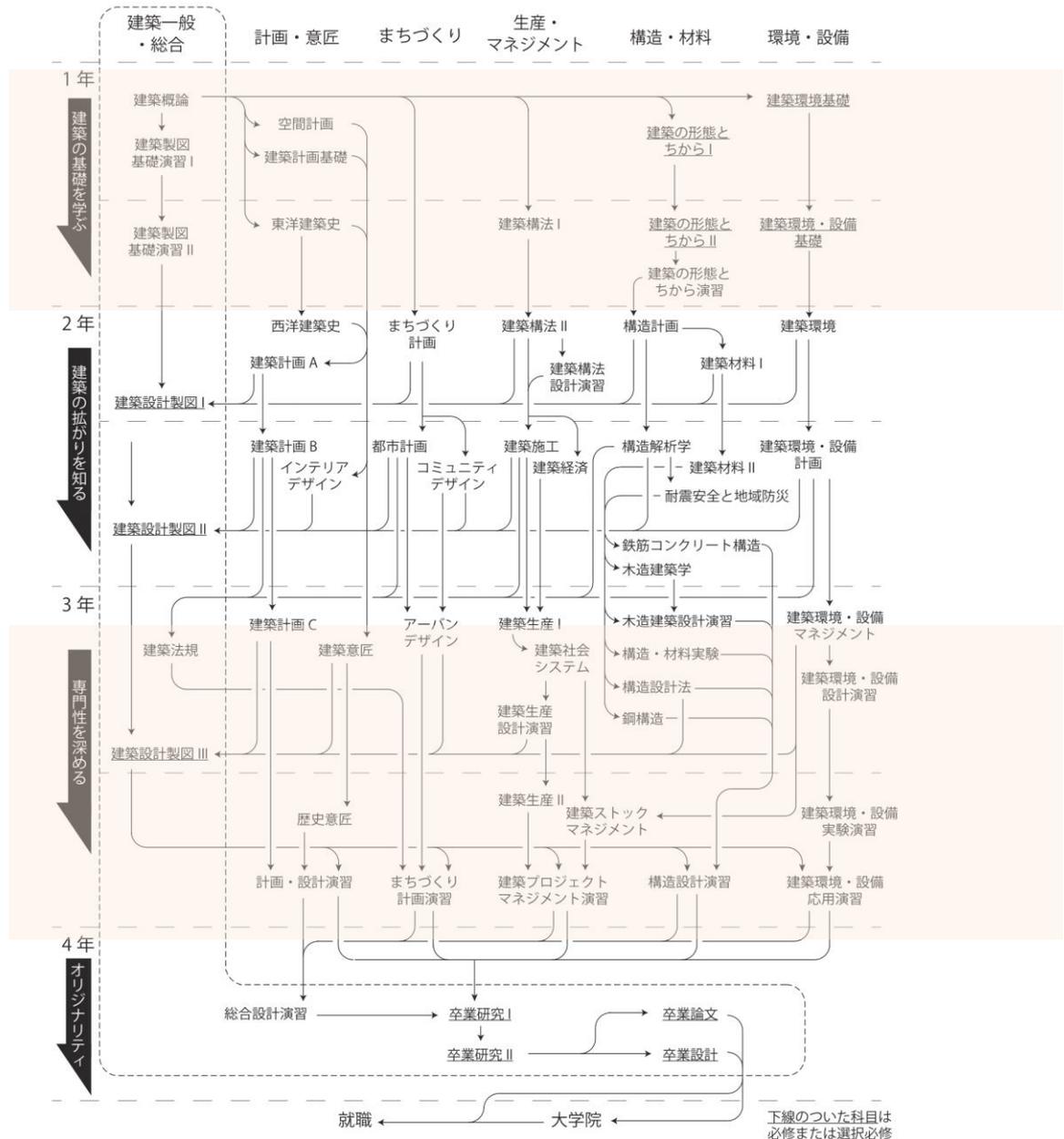
カリキュラムマップ

1年

2年

3年

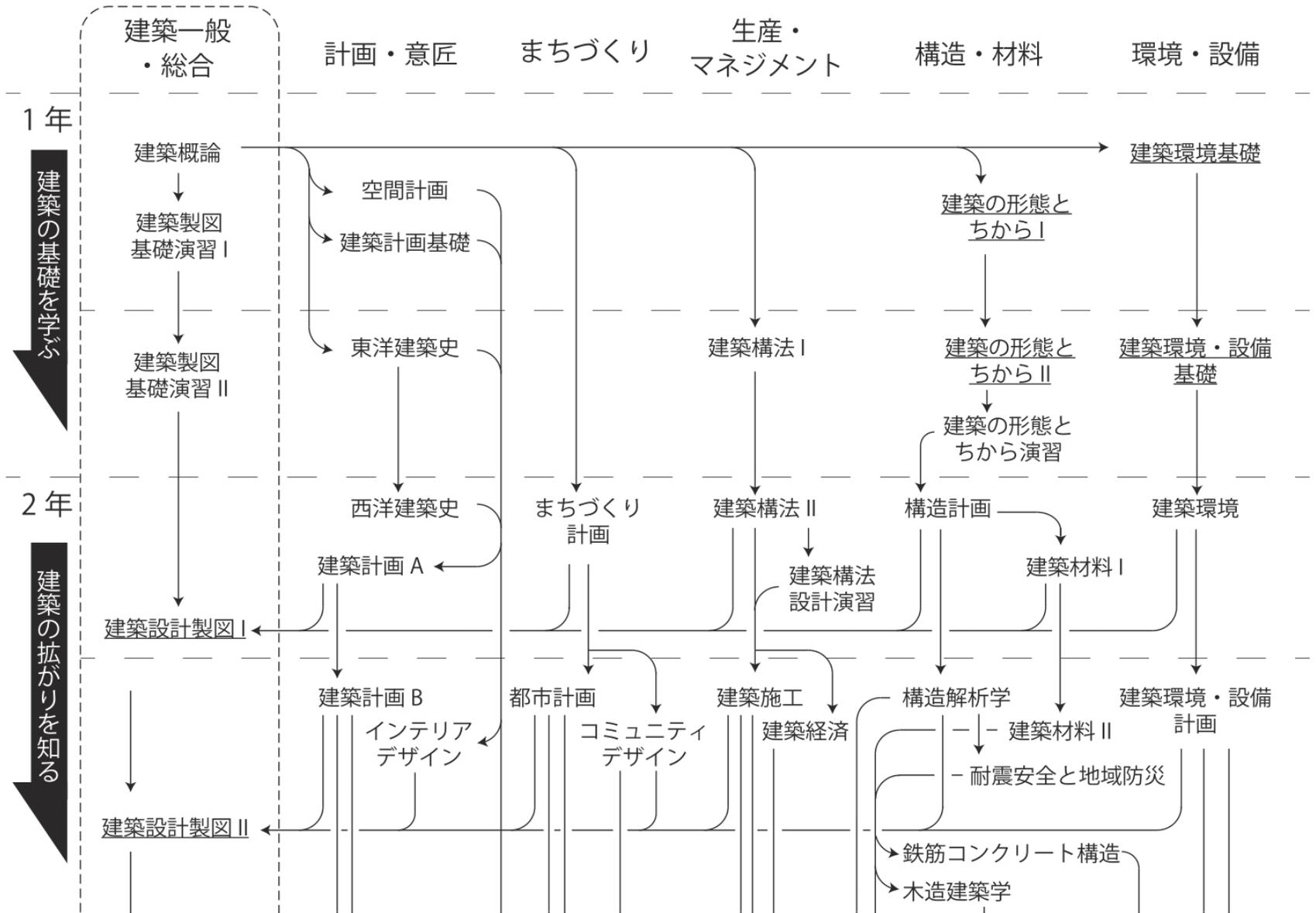
4年

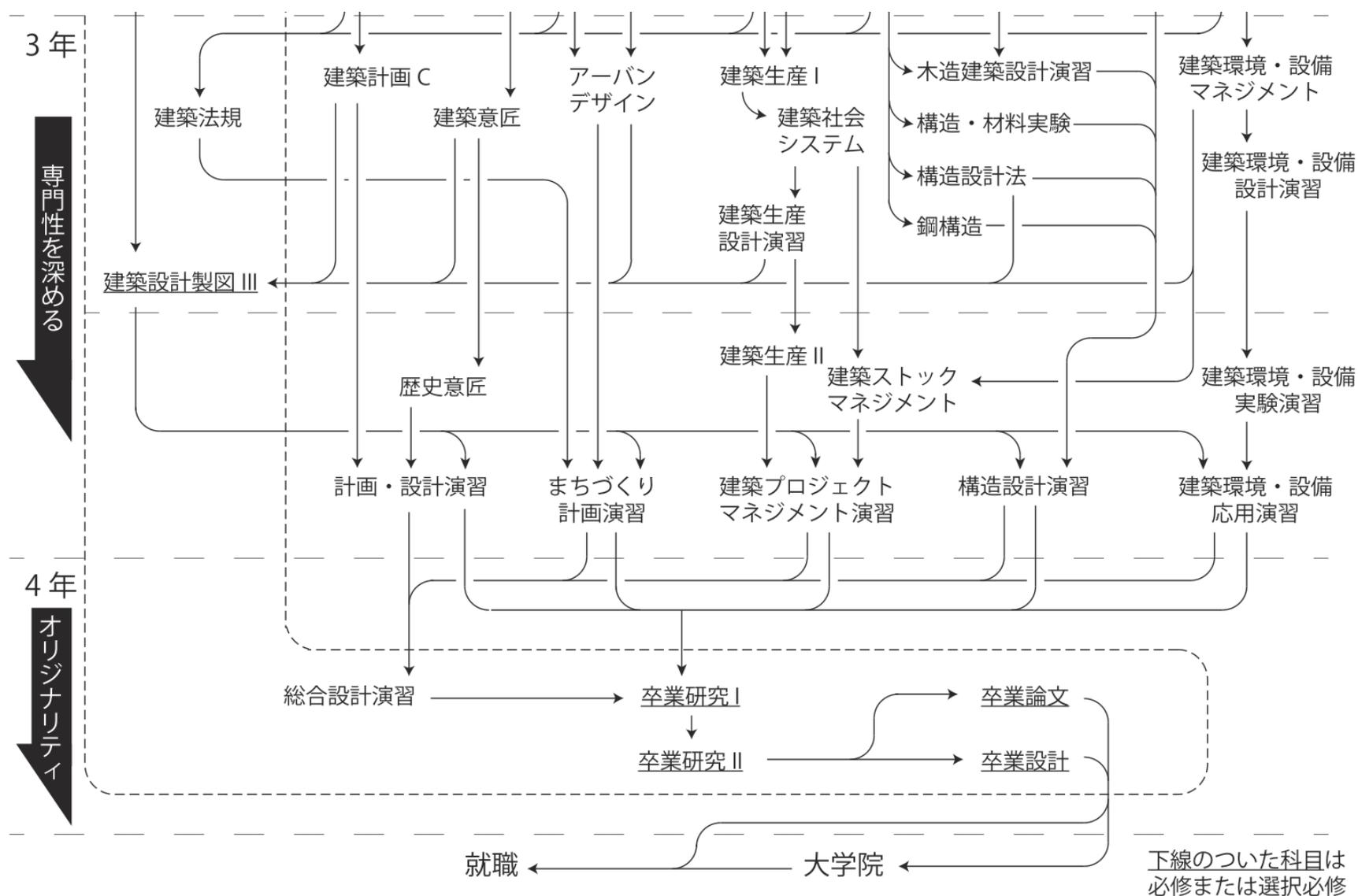


建築学科ディプロマポリシーとカリキュラムとの対応

- (1) 建築・まちを企画，デザイン，マネジメントする基礎となる教養，素養，技能，専門知識 ⇒ 各分野専門科目
- (2) 広く建築・まちを捉え成果物をまとめる能力，プレゼンテーション能力 ⇒ 建築一般・総合および各分野演習
- (3) コミュニケーション能力，倫理観，社会に貢献する心構え ⇒ 建築一般・総合および各分野演習

下線のついた科目は
必修または選択必修





建築学科ディプロマポリシーとカリキュラムとの対応

- (1) 建築・まちを企画，デザイン，マネジメントする基礎となる教養，素養，技能，専門知識 ⇒ 各分野専門科目
- (2) 広く建築・まちを捉え成果物をまとめる能力，プレゼンテーション能力 ⇒ 建築一般・総合および各分野演習
- (3) コミュニケーション能力，倫理観，社会に貢献する心構え ⇒ 建築一般・総合および各分野演習

■3つのポリシー

【アドミッション・ポリシー】（入学者に期待されるもの）

【カリキュラム・ポリシー】（在学者が学ぶもの）

【ディプロマ・ポリシー】（卒業生が得るもの）

■アドミッション・ポリシー

- 自立心：学生自身が建築を学ぶテーマや対象を自ら選び、調べ、社会・地域と関わりながら、作品や論文をまとめ上げる。
- 向学心：過去・現在から学び、未来を思考しながら、新たな知見・技術を求める。
- 協調心：学内外での活動・グループワークなどで他者の価値観・考えを尊重しながら自身の考えを主張・行動する。

なぜこれらが期待されるか？

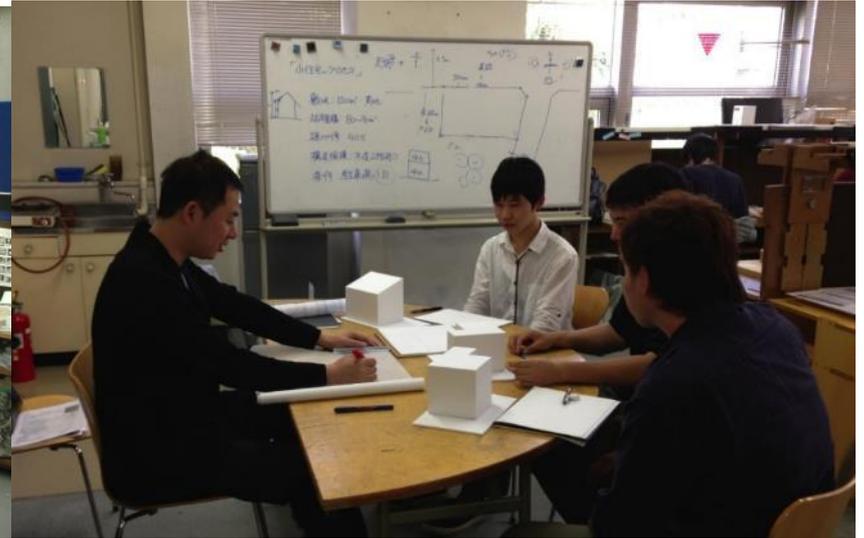


■カリキュラム・ポリシー

- 4年一貫教育：5分野の専門科目と各分野を横断的につなぐ科目を、分野や学年のバランスを考慮して配置。
- 総合的な能力：講義に加え演習科目も通して、国際化、社会の変化に対応した幅広い視点から、建築やまちを企画し、創り、マネジメントする力を身につける。
- 社会規範と協調性：様々なフィールドワークを体験することで、実際の現場を知り、専門家、行政、住民と対話し、課題をまとめ上げる。
- プレゼンテーション能力：学内、学外を問わず論文や作品の発表・講評の機会を多く設け、「伝える力」と「聞く力」を豊かに。
- 資格取得：一級建築士の受験資格はもちろん、施工管理技士、インテリアプランナーなどに向けた専門科目を1年次から開講。また、資格取得に向けたセミナー等を開催。

授業風景(製図室)

2・3年生は製図室に自分専用の机を持っています。
学生約15人に対して教員1名がつき、個別に指導します。

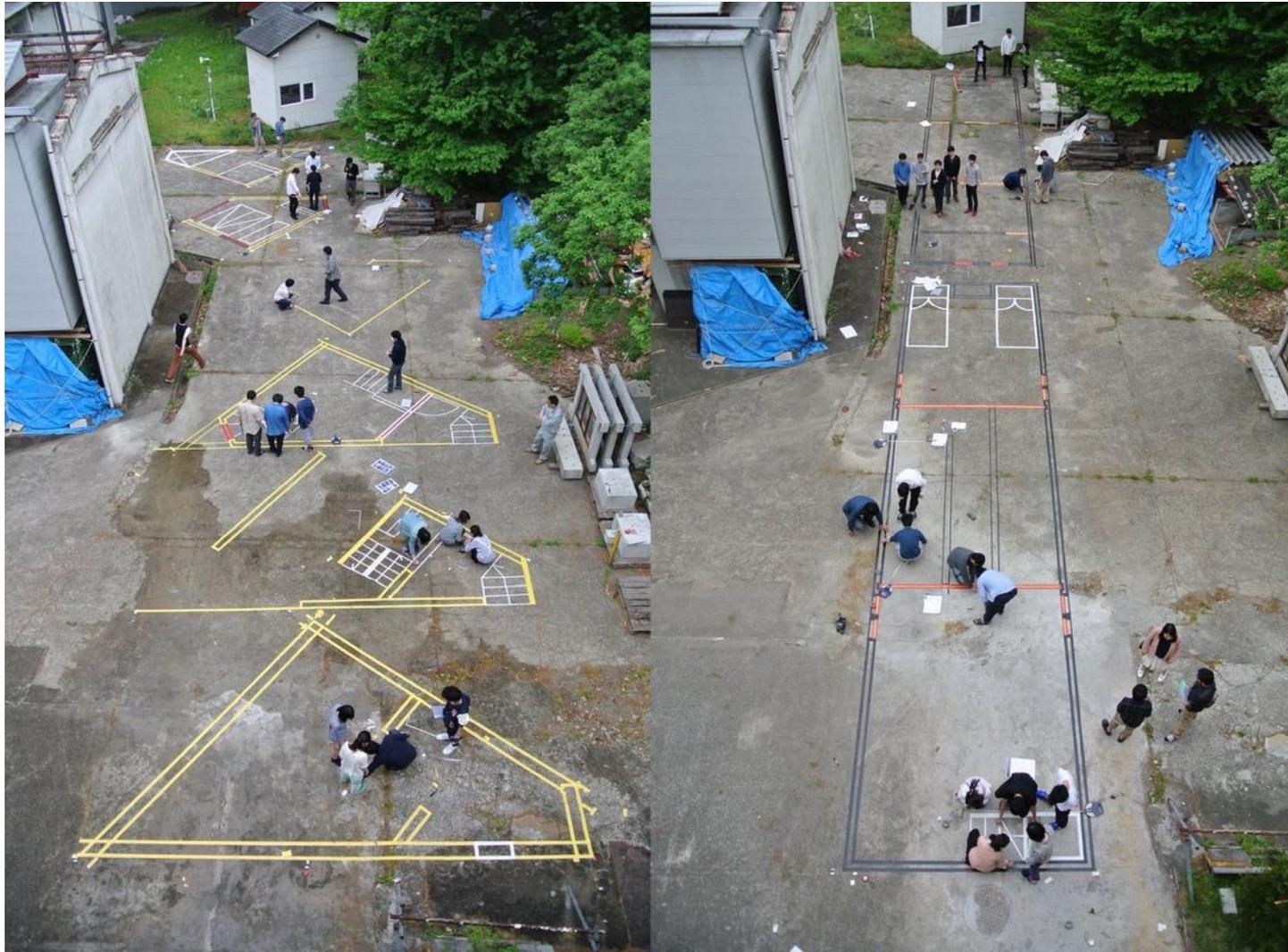


授業風景(2年生建築設計製図 I・II)



授業風景(測量実習・選択)

測量実習では塔の家(1966東孝光)と住吉の長屋(1976安藤忠雄)の実寸平面の墨出しを行いました。それぞれの建築面積は 11m^2 と 33m^2 、構成は6層と2層です。ベッドに横になったり、階段を上り下りしたりして広さと狭さを実体験しました。



授業風景(3年生春学期必修) 【建築設計製図Ⅲ】

3生が川越市に実在する3つの敷地を対象に
建築の提案に取り組みました。





学生が



川越で建築を



考えました

東洋大学 建築学科

まちかど講評会 2019

TOYO Univ Architecture Review

まちかど講評会とは

2019年度の東洋大学理工学部建築学科では3年生の建築設計課題において、「川越の新しい文化と賑わいの拠点」をテーマに川越市に実在する敷地での建築物の提案に取り組みました。その講評会を蓮馨寺講堂にて行います。市民の皆様にご来場いただき、様々な意見・ご感想をお寄せください。

地元ゲスト講評会

7/13(土) 13:00~17:00

ゲスト建築家講評会

7/14(日) 14:00~17:00

7/13(土) — 15(月) 10:00~17:00 蓮馨寺講堂 入場無料

※ 初日7/13(土)のみ入場開始13:00~

ゲスト建築家

高橋一平氏 [高橋一平建築事務所]

建築家

1971年東京都生まれ。2000年東北大学工学部建築学科卒業。2002年横浜国立大学大学院工学研究科建築学専攻修了。2005年西沢実建築設計事務所入社。2009年同社代表 高橋一平建築事務所設立。2013年から横浜国立大学建築設計専攻 准教授。2018年から横浜大学非常勤講師。

アクセス

蓮馨寺講堂

〒300-8006
埼玉県川越市蓮馨町7-1

- 川越駅より徒歩10分・北口南口より徒歩1分
- 三ツ沢駅より徒歩10分・北口南口より徒歩1分
- 三ツ沢駅より徒歩10分・北口南口より徒歩1分
- 駐車場はございません。



お問い合わせ先 東洋大学理工学部建築学科【中村】TEL.049-239-1415 主催 東洋大学理工学部建築学科

授業風景(3年生秋学期・選択) ～計画・意匠系【計画設計演習】

2040年を見据えた公民館と学校のデザインに取り組んでいる計画設計演習では、工藤和美教授による学校建築のレクチャーから小中一貫校の検討が本格的にスタート



授業風景(3年生秋学期選択～構造系)

【構造・材料実験】

【木質構造設計演習】

板壁実験風景: 中尊寺大長壽院庫裡の耐震改修課題。研究開発した板壁の適用事例が教材。



授業での実験風景



中尊寺大長壽院庫裡(改修後)

授業風景(環境・設備系) 【音響設計の特別講義】

音響設計の世界的権威の池田氏から、音響計画の精緻なエンジニアリングの基本理論から世界の建築音響の歴史的展開を最新の実例を交えてご紹介頂きました。



懇親会では、世界中の様々な建築家との協働とプロジェクトの話題も

東洋大学
建築学科
特別講義

「建築の音響計画」

池田 覺 永田音響設計
SATORU IKEDA, NAGATA ACOUSTICS

2016/6/2 (木) 16:30-18:00
川越キャンパス 2号館 2102 教室

下記の事例は永田音響設計が音響設計を手掛けた建築のごく一部です。詳しくは永田音響設計HPをご覧ください。



授業風景(3年生秋学期～まちづくり系) 【まちづくり計画演習】



2020東京オリンピック・パラリンピック選手村のまちづくり計画提案を行いました。
オリンピック期間中だけでなく、長期的な視点に立ったサステナビリティ(持続可能性)の高い提案について熱く議論が重ねられました。

東京都プラン

学生プラン



学生たちの提案～【福祉先進都市】【外国人研修支援特区】【ロボット特区】【東京カジノプロジェクト】【地方のための東京とするためのMICE計画】

東京都の実際の選手村計画の模型を作成

授業風景(3年生秋学期～構法・生産系)

【構法生産設計演習】

瓦屋根工事の実習として、前回学んだ瓦屋根の納まりについて、詳細図を描いた上で実際に施工を行います。
まずは職人さんによる安全講習です。



授業風景(3年生秋学期選択～構法・生産系)

【プロジェクトマネジメント演習】

プロパティーマネジメントの演習課題で既存ビルを対象とした、価値向上のための工夫や提案をおこなう課題に取り組めます。既存ビル、周辺敷地のサーベイを行いました。東洋大OBの村田さん、下田さんにご協力頂きました



地域と連携した取り組み例～東洋大学「毛呂山プロジェクト」

3年生選択「まちづくり計画演習」、4年生選択「総合設計演習」

埼玉県で空き家率ワースト1の毛呂山町と連携協定締結
郊外住宅地の持続的更新を目指したプロジェクトを展開

- 2017年1月 空き家を活かしたまちづくり提案展（第一団地）
- 2017年4月 第一団地の空き家・空き店舗の実測調査・図面化
- 2017年7月 毛呂山版 『空き家』提案バンク展
（第一団地＋農村集落の良好な古民家）
- 2018年1月 空き家トリアージ研究成果報告会
- 2018年7月 NPO活動拠点づくりから始まるまちづくり提案



空き家「提案」バンク展の様子



既存



軸組



改修後



実測の様子



地域と連携した取り組み例～東洋大学「鶴ヶ島プロジェクト2019」

4年生選択「総合設計演習」

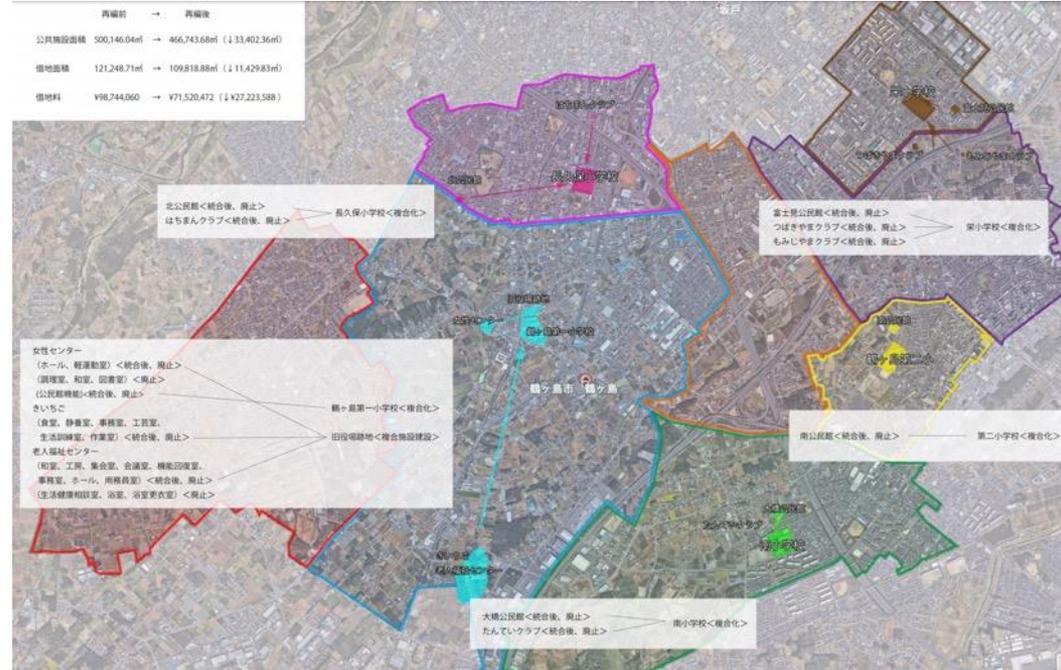
■ 公共施設の保有状況

類似市町村平均：1.67m²/人

鶴ヶ島市：1.96m²/人

※公共施設の借地が多い

(借地料だけで年1億の負担)



1. 鶴ヶ島市公共施設の再編・再配置計画

1-1. 鶴ヶ島市の現状と課題の整理

1-1-1. 鶴ヶ島市のまちづくり方針

1-1-2. 公共施設の課題と方針

1-1-3. まちづくりの方向性と公共施設の再編・再配置方針

1-2. 具体的な公共施設の再編・再配置計画の提案

1-2-1. 統廃合する施設の概要および表 /

統廃合による公共施設の床面積・費用の縮減状況

2. 旧役場跡地の公共施設再生計画

2-1-1. 立地特性・交通アクセス等 / 計画地周辺の現状

2-1-2. 法規制・上位計画等に基づく前提条件の整理

2-1-3. 公共施設再生の基本コンセプト /

旧役場跡地に集約する施設の現状と課題 / 面積表

2-2. 諸室の構成・各諸室の規模の検討 /

駐車場・外部空間等の考え方・規模の検討

2-3. 施設計画の概要

国際教育(1-4年)
【タイ・チュラロンコン大学短期留学】



国際教育(1-4年)

【バルセロナ建築センター・短期留学プログラム】



国際教育(全学共通)

【イタリア・アマトリーチェ復興プロジェクト】



■ディプロマ・ポリシー

- 建築・まちを企画、デザイン、マネジメントするために基礎となる、「計画・意匠」「まちづくり」「構造・材料」「環境・設備」「生産・マネジメント」に関する教養、技能、専門知識を習得していること。
- ひと、社会、地球環境に対して幅広い視点から建築・まちを捉え、自身の研究論文、建築設計作品などの成果物をまとめ上げる能力、確かなプレゼンテーション能力を身につけていること。
- コミュニケーション能力や倫理観を養い、社会に貢献し、多くの人のために尽くす心構えを身につけていること。

卒業科目

- 卒業研究Ⅰ（必修）
最終学年春学期
- 卒業研究Ⅱ（必修）
最終学年秋学期
- 卒業論文（選択必修）
梗概集に掲載
- 卒業設計（選択必修）
作品集に掲載



卒業研究（論文・設計）梗概集

卒業研究の一例

耐震構造実験

- ・ 実験計画
- ・ 試験体の作製
- ・ 構造実験
- ・ データ整理
- ・ 解析



卒業設計講評会



19年度卒業設計金賞
齊藤悠太



アルキ
歩記

記憶が忘却され
やがて街は死ぬ

一夜にして数え切れないほどの人間が死んだ。老いた老人から、未来ある若者までみんな死んだ。一夜にして数え切れないほどの物が壊れた。小さな生活の道具から、大きな建築物まで全部壊れた。圧倒的な力の前には人間は何もなす術がなく、できることは愚直に壊れたものを修理していくことだけであった。しかし、どこかで何かを間違ったのかもしれない。街が復興に向かうほど、街を満たす空気はどこか寂しくなっていく以前の街の面影は今ももうない。

以前の街の記憶がそこに住む人から徐々に消えていき、やがて街は死ぬ。

街の記憶を想起する空間装置と
それらを巡る都市的プロムナードの提

site : 宮城県 気仙沼市



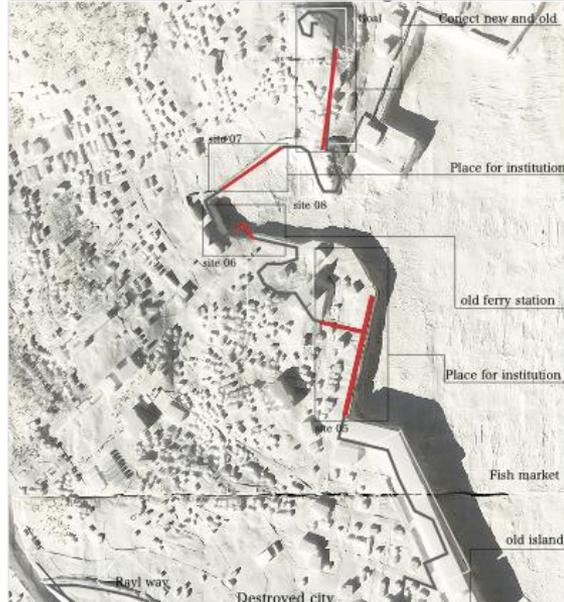
総人口6万人弱の街で、地形を利用した漁業、水産業が主要な産業である。東日本大震災では、1500人弱の死者、行方不明者8500棟の住宅が壊れる被害を受けた。

都市の記憶を空間に翻訳するための言語の設定

二つの異なる世界を構築するもの、ある一定の空間をへて緩やかに世界が変化することを表すもの	二つの世界を作るもの、それに沿って歩くことを促すもの	くでると世界が劇的に変わることを表すもの、	世界を切り取ってそこに意識を介在させるためのもの	世界にリズムを作り出すもの、あるいは世界に基準を与えるもの、	緩やかに変わるアイレベルによって、主観的意識と客観的意識の変化を緩やかにするもの、	断絶的に変化させるアイレベルによって、主観的意識と客観的意識の変化を強調するもの、	高が依って見えなためその先へ人を誘導することを表すもの、	一段高くなることで周囲とは異なる場であることを強調するもの、	正空間への意識を遠隔することによって下にいる人の視線を水平方向に向けさせるもの、

一冊の本を読むような
プロムナードの構成

一冊の本を読むような都市の空間体験という全体のあり方とそれを演出する部分という構成で都市の記憶を巡る物語を作成し、歩くという



エピソード
主要部Ⅱ (祭祭性)
主要部Ⅰ (祭祭性)
回想

08 接続橋		第山という小高い丘の上に復興記念公園ができるが、地元の人でも生き方がよくわからない場所、全く馴染みも無い場所が立地だけで選ばれている。	
07 絶壁舞台		魚問屋のが海岸線に一直線に軒を建っていた場所、tp5.2mの防風壁が建設され海と街の間に大きな高差が生み出されている。	
06 海中廊		かつては魚市場があり、次にフェリー乗り場、今は商業施設が建設されている場である。海との親和性が高い場所、内湾で唯一湾内にせり出した建物が建てられる場所。	
05 空中廊		石灰岩の丘を背後に控えた埋立地自然の形を利用して、急峻な丘の河原にゲートを備えることで防風壁の建設を回避した場所、出船送りや、お祭りなど多くの慣習、儀礼の場にもなってきた場所。	
04 反転島		漁業の近代化に伴う埋立、震災復興によるかさ上げ工事の一環のプロセスにより舊地へと変化した島。	

学科独自の
フィールドワーク

木匠塾
もくしょうじゅく



学科独自のフィールドワーク ～学生の自主的活動へのサポート

川越ライトアッププロジェクト

食と音と灯りの融合実行委員会が主催する「小江戸川越ライトアップ」イベントに、学部3年生を中心に有志で参加した学生が作成した作品が川越一番街鍛冶町広場にて展示されました。



夜は閑散としてしまう一番街商店街ににぎわいをもたらし、より小江戸川越の新しい魅力を知ってもらいたいと、川越市・川越商工会議所・公益社団法人小江戸川越観光協会・株式会社まちづくり川越と、東洋大学等との大学が連携して取り組んでいます。

キャリア形成を意識し多様な資格に対応

建築学科のカリキュラムでは、学生が興味に合わせて知識や技能を取得できるよう、多くの選択科目を設けています。同時に、建築・まちづくりに必要な基礎的な知識・技能を身につける科目を履修していくなかで、無理なく二級建築士の受験資格を得られるようにカリキュラムを工夫しています。卒業後、さらに2年間の実務経験を経ることで、一級建築士の受験資格が得られます。

建築士以外にも、インテリアプランナー、福祉住環境コーディネーター、建築施工管理技士など、各自の進路に合わせて多くの専門資格取得に役立つ科目が用意されています。

3年次には、進路指導を兼ねた個別指導を全員に行っています。また、各学年での科目選択や勉強の進め方などへの質問に答える「学修相談会」も積極的に開催しています。

2020年度の試験から 建築士試験の受験資格が変わりました。
所定の単位を習得して当学科を卒業すると、その年に受験できます。
試験合格+所定の実務経験をもって、建築士の免許登録となります。

【改正前】



【改正後】



※卒業後 A+B= 所定の年数以上

実務経験については、卒業から免許登録までに所定の年数以上必要となります。

ここでの学校とは、指定科目の確認を行った大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、職業能力開発
大学校等を想定しています。

卒業後の主な進路・就職先

- 設計 : 設計事務所、ゼネコン・ハウスメーカー等の設計職、
設備設計、構造設計、インテリアデザイン等
- 施工 : 総合建設業（ゼネコン）、工務店、建築設備業、
専門工事業等
- 住宅産業 : ハウスメーカー、リフォーム会社、設備会社
家具・インテリア会社等
- 建材・設備機器の製造・開発 : 建材メーカー、設備機器メーカー、商社等
- 建物管理業 : ビル管理・マンション管理・設備維持管理会社等
- コンサルタント : 都市計画コンサルタント会社等
- 不動産開発 : デベロッパー、リース・レンタル、不動産会社等
- 行政・研究 : 国家公務員、地方公務員、研究所、
民間の建築確認検査確認機関等
- その他 : 飲食・金融・銀行等
- 大学院進学

同窓会と連携して合同業界研究セミナーを開催

学科創設以来50年を越える卒業生が集まる建築学科同窓会「泉会」が、全面的に在学生の就職活動をバックアップします。毎年、就職活動の開始とともに、泉会と建築学科が共催して、建築学科独自の「合同業界研究セミナー」を行っています。

「合同業界研究セミナー」は、建築学科に関連した会社が参加するので、効率的な就職活動を行うことができます。泉会ではほかにも、希望者に対して個別の就職相談を行っています。

※以下は、2019年度実施の合同業界研究セミナーの告知です。

建築学科 合同業界研究セミナー

概要： 現在の3年生、修士1年生を対象に就職活動に向けての準備やアドバイスを東洋大学建築学科の卒業生を中心に、様々な企業の方々が行います。
今年は61社の企業が参加予定です。多くの企業が川越キャンパスに集まるとも貴重な機会ですので、就職活動のスタートとして、まずは気軽に参加してみてください!!

日程： 2019年12月14日(土)

会場： 東洋大学川越校舎 1号館1階1101～1105教室

会場：東洋大学川越校舎 1号館1階1101～1105教室

1. 趣旨説明 | 13:00～13:20 1号館2階1201教室

2. 企業相談会 | 13:30～16:00 1号館1階1101教室～1105教室

参加企業リスト（当日の変更有り）順不同：

企業分類	企業名				
総合 建設業	株式会社 淺沼組	伊田テクノス株式会社	岩堀建設工業 株式会社	株式会社 岩本組	株式会社 植木組
	大木建設 株式会社	株式会社 大林組	小川工業 株式会社	鹿島建設 株式会社	
	川木建設 株式会社	木内建設 株式会社	埼玉建興 株式会社	株式会社 佐伯工務店	
	佐藤工業 株式会社	株式会社 島村工業	清水建設 株式会社	西武建設 株式会社	
	大成建設 株式会社	大日本土木 株式会社	田中土建工業 株式会社	鉄建建設 株式会社	
	東急建設 株式会社	東鉄工業 株式会社	戸田建設 株式会社	飛鳥建設 株式会社	
	株式会社 ナカノフドー建設	南海辰村建設 株式会社	株式会社 西松建設	初雁興業 株式会社	
	株式会社 フジタ	古郡建設 株式会社	株式会社 本間組	株式会社 松永建設	三井住友建設 株式会社
	意匠 設計	株式会社 交建設計	株式会社 タック	株式会社 ブランテック総合計画事務所	株式会社 理建設計
	ハウスメーカー	株式会社 アクセラホーム	三井ホーム 株式会社		
不動産	株式会社 アルコ				
設備 工事業	株式会社 朝日工業社	斎久工業 株式会社	櫻井工業 株式会社	株式会社 城口研究所	
	新菱冷熱工業 株式会社	大成温調 株式会社	大成設備 株式会社	ダイダン 株式会社	
ビル管理	株式会社 第一ビルディング	日本ハウズイング 株式会社			
	野村不動産パートナーズ 株式会社	三菱地所コミュニティ 株式会社			
リフォーム	建装工業 株式会社	株式会社 シミズ・ビルライフケア	住友林業ホームテック 株式会社		
	ミサワリフォーム 株式会社	三井不動産リフォーム 株式会社			
建材	サンリット工営 株式会社				
行政	川越市役所				
その他総合	スターツCAM 株式会社				

3. 懇談会 | 16:30～18:00

会場：学生ホール食堂棟2階 参加費：無料

大学院 建築学専攻の紹介

理系的な基礎を持つ学士→「専門性を持つ」修士へステップアップ！

- 所定の単位を修得すれば、一級建築士の実務認定(意匠系は1年or2年、構造系・設備系は1年)を獲得できます。
- 学位:修士(工学)
- 学部卒の場合、研究室に所属して、その専門的な知識・技術を習得する時間は、実質1年程度になるが、大学院進学の場合、3年となり、より専門的な知識・技術を習得できます。
- 諸外国の永住権や就労ビザの条件として、修士以上が明記されている場合もあり、修士号(工学)は、国際的には资格的な役割を担っている面もあります。

東洋大学建築学科ソーシャルデザインスタジオ 「鶴ヶ島・未来との対話プロジェクト2013」 ～環境教育施設「eコラボつるがしま」～

- 東洋大学大学院の特別設計演習の一環として、大学院生と地域住民が意見交換を重ねて設計
- 用途：環境教育施設・災害時に避難所の拠点

東洋大学ソーシャルデザインスタジオにて設計を行った「鶴ヶ島太陽光発電所環境教育施設(eコラボつるがしま)」が「2015年度グッドデザイン賞」を「公共用の建築・施設」部門で受賞！



東洋大学理工学部建築学科は
21世紀の建築とまちをつくり、
日本、世界を支える学生のために、
様々なカリキュラム、活動、
学習・研究環境を用意して待っています。

普段の授業や
イベントの様子は
twitterで
発信しています。
フォローして
ください。
↓
twitter.com
/toyo_arch



東洋大学建築学科公式

277件のツイート



プロフィールを編集

東洋大学建築学科公式

@toyo_arch

東洋大学理工学部建築学科公式アカウントです。

埼玉県川越市 toyo.ac.jp/site/darc/

2015年9月からTwitterを利用しています

1 フォロー中 679 フォロワー

ツイート

ツイートと返信

メディア

いいね



東洋大学建築学科公式 @toyo_arch · 7月13日

本日7/13～7/15まで3年生「まちかど講評会」が川越市の蓮馨寺にて開催されます！

川越市内にある3つの敷地を対象に設計課題を行い、その成果物の展示を行います。

明日7/14、14:00～は高橋一平さんをお迎えして講評会を行います。

どなたでもご参加いただけます！たくさんのご来場お待ちしております！

